

令和2年11月定例県議会の概要について

概 要

「一般質問」での教育委員会関係の主な質疑応答

深堀 ひろし 議員

◇次期長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025について

(1) 不登校児童生徒への支援に対する文部科学省の考え方が変わったと聞いている。現在の考え方について伺いたい。

(教育長答弁)

令和元年度の小中高の不登校児童生徒数は本県及び全国とも過去最高の数値となっております。不登校については、昨年10月に出了された国の通知で「登校のみを目標とするのではなく、社会的な自立を目指す必要がある」と示されているところであります。

(2) 学校は不登校になった要因や、学校以外の学びの場となる民間団体等を十分把握していないと、それぞれの児童生徒に適した場所につなぐことができないと考える。このことについて伺いたい。

(教育長答弁)

不登校の要因につきましては「家庭問題」や「友人問題」などが複雑に絡み合っており、様々な視点から対応することが重要であると考えております。学校では、担任、養護教諭等による日常的な観察や生活アンケートの実施、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等による個別面談等を通して、要因の把握に努めております。また、その要因によりまして学校以外の居場所等についても、フリースクール等と連携して、児童生徒に対して、社会的自立に向けた具体的な支援を図ることとしております。